

市民広場ワークショップ お知らせ便

市民広場ワークショップの情報をお届けします！

Vol.1

2025.2

第1回ワークショップを開催しました

市民病院跡地周辺について、広く市民に利用され利用したくなる市民広場として整備するため、基本計画の策定を進めています。計画の策定にあたり、市民の皆さんの具体的な要望やアイデア等を把握し、活かしていくために、ワークショップ（意見交換）を行っています。

第1回のワークショップを1月25日に開催し、一般応募者や中高生など33名の方に参加いただき、市民広場での過ごし方、やってみたいことなどを話し合っていました。

ワークショップは、全3回の開催を予定しています。第2回は、利用したくなる広場の施設や機能について話し合う予定です。

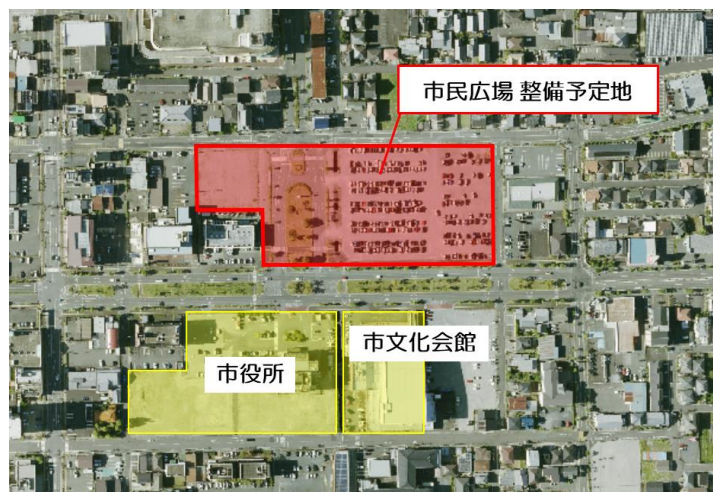


当日の様子（中高生の部）



当日の様子（一般市民の部）

市民広場整備予定地の概要



- 市民病院跡地、保健所跡地、道路（区整東5号線）
- 全体敷地面積は約16,000㎡
- 市民病院跡地は約9,700㎡（114m×85m）

市民広場整備の今後のスケジュール(案)

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
内容	基本計画作成		基本設計 実施設計	整備工事

※早ければ、令和9年度から整備工事を行う予定です。

市民広場の基本コンセプト

◆多様な市民の交流と協働を育む

創造と集いの拠点づくり

- 市民や多様な活動によりにぎわいが創出され、本市の求心力の主体となるような、シンボリックな空間形成
- 子育て世代・高齢者・障がい者、外国人などの多様な市民がつどい、交流や協働が育まれるような場づくり
- 市道区整東5号線の緑地化や保健所跡地の活用を含め、常に進化・発展する創造とつどいの広場

◆多用途に利用可能な

屋外空間づくり

- 屋外イベントや災害時の広域防災活動拠点として利用できるなど、フレキシブルかつ多用途に利用可能な空間づくり

（庁舎整備基本計画（令和2年3月）より）

第1回ワークショップの内容

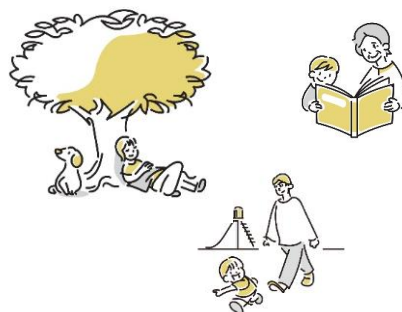
第1回ワークショップでは、ワークショップ開催の目的や進め方とともに、市民広場整備の位置づけ、ミニ講演（賑わう広場の参考事例）等を説明し、広場の使い方（過ごし方、やってみたいこと）について、班別に意見交換を行いました。



市民広場の使い方、過ごし方、やってみたいこと

■大切なこと

- **誰もが自由に**使え、**ゆっくり**過ごせる場づくり
- 利用しやすく、**行ってみたく**なるきっかけになるような場づくり
- 障がいのある人も含めて**誰もが安心・安全**に過ごせる居場所づくり
- **近江八幡らしさ**や、ここならではの魅力づくり



■やってみたいこと

- 芝生広場や緑・花・水辺など、自然を感じ**ゆったり**くつろぐ
- 遊具等を活かし、子どもや親子が**遊びを満喫**する
- 誰もが参加できる運動やスポーツで健康づくりやリフレッシュする
- **様々な体験・学習・創作・交流**等の機会に参加・挑戦する

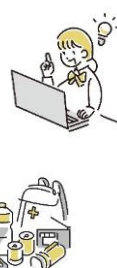
■魅力向上に望まれること

- シンボリックなスポットや空間など、**映える**景観演出にこだわる
- 夜間照明や季節イベント時の装飾など、利用促進に向けて工夫する
- 日陰づくりなど、屋外でも**休憩しやすい**工夫をする
- 子育て世代の安心を支援する、親子のふれあいや**交流機会の拡大**



■機能で望まれること

- 学生や子どもの日常的な**学習や交流を支援する場**の強化
- 地区全体の滞留や集客を促進する商業サービス機能の強化
- 利用しやすさの増進につながる機能サービスの向上
- 日常的利用にも配慮した、**災害時対応機能**の強化



■留意すべきこと

- 周辺住宅地との共存、周辺観光ネットワークへの配慮
- みんなでつくり育てる体制づくり



○主な意見は、次ページ以降にまとめています

ご意見をお待ちしています

ワークショップ参加者の募集は締め切っていますが、市民広場に関する意見は引き続きお待ちしております。

市民広場に関するご意見はこちらから▶



◇ お問い合わせ ◇

〒523-8501 滋賀県近江八幡市桜宮町236番地
近江八幡市 総務部 管財契約課 市庁舎整備推進室
TEL：0748-36-5577 FAX：0748-32-3237

【参考①】 第1回ワークショップにおける班別の主な意見の概要(中高生の部)

みんなでつくろう！市民広場
2025年1月25日 @ ひまわり館

WS1 広場で何？ みたいことは？ → WS2 利用したくなる 広場のイメージは？ → WS3 提案のまとめ 利用促進の取組

“広く市民に利用され利用したくなる市民広場”

- 多様な活動にむけ、シンボル、交流・協働
- 色んな場面でイベント、災害時の拠点

山口先生 山口先生

広場で何をしたい？

先生 90年代 防災 やり 交通 農 裸足 土にふれる マルシェ プリマ ラッパの 世界観

みんなの居場所をつくらう！

小林先生

1班 みんななか

音楽 フェス フリーマーケット 食 自由に使える

ウットラット 創作 夜 カフェ パーティ 風景 自然をいやす

ものづくり ワークショップ 防災 ベンチ

3班 “様々な人が” 交流する広場

夏祭り スポーツ ランニング 様々なイベント 安心できる 先生 子どもの 仲良くなる 障害のある人も 昼寝する

2班 自然 環境 映え 写真もとりたい 地域ならではの 音楽が 楽器が できる！ 無料で 楽しめる サイクリングの 拠点に

グラフィックレコーダー：谷川陸

【参考②】 第1回ワークショップにおける班別の主な意見の概要(一般市民の部)

みんなでつくろう！市民広場
2025年1月25日 @ ひまわり館

WS1 広場で何？ みたいことは？ → WS2 利用したくなる 広場のイメージは？ → WS3 提案のまとめ 利用促進の取組

“広く市民に利用され利用したくなる市民広場”

- 多様な活動にむけ、シンボル、交流・協働
- 色んな場面でイベント、災害時の拠点

山口先生 山口先生

広場で何をしたい？

先生 90年代 防災 やり 交通 農 裸足 土にふれる マルシェ プリマ ラッパの 世界観

みんなの居場所をつくらう！

小林先生

1班 広場に行く

1日中、どの季節も きっかけ 楽しく 一緒に過ごせる

子どもと いろいろな使い方ができる

食事ができる 子供食堂 シンボルになる 水遊び 遊具の貸出し 市民農園 エイブル

2班 いろいろなイベント (金曜ステージになる)

人々集まるイメージ 滑る 立 イスになる段差 多様に 使える広場 金棒 テント 仮設 森のよう なこもれび 価値が 上がる 安心できる 屋外コート 赤ちゃんと ハイハイできる 多世代の交流が 生まれる広場 曲 家に おにぎり

3班 健康・ウォーキング!

誰もが 自由に ゆっくり できる 禁止が少ない キッチンカー マルシェ ステージ いも 丘 自然と ふれあえる 水田

くつが ぬげる 多世代が ゆっくりできる 包みがつくような 防災 倉庫 創庫 暑工から逃げる 屋根をこが

グラフィックレコーダー：谷川陸

【参考③】 市民広場の使い方に関する様々な意見・アイデア集(主な意見一覧)	
大切なこと	◆誰もが自由に使いやすく行きたくなる場づくり ・自由に使える広場、空きスペースを確保してイベント開催、禁止事項が少ない、無料で使える ・誰もが自由にゆっくりできる、小さな子にもわかりやすく楽しめる、障がいのある人も含めて誰もが安心・安全に過ごせる居場所づくり ・どこ行こうか何しようか迷ったときに、行きたくなる場所 ・まちや周辺の風土や自然環境(らしさ)を大切に ・市役所と行き来しやすい、旧市街地へアクセスしやすい
やってみたいこと	◆自然を感じゆったりくつろぐ ・広い芝生広場での休息や憩い、寝転び、芝生に座っての談話やピクニック、自然を感じながらの会議 ・水辺の環境、ビオトープ、水遊びできる場や噴水
	◆こどもの遊び場 ・遊具、アスレチック、大きな長いすべり台、ジップライン、自由な発想で遊べるふわふわした遊具 ・登ったり滑ったり見渡したりできる小山・丘、砂などで創作できる場、子どものプレーパーク、親子の遊び場
	◆運動や健康 ・体操を教わる、ラジオ体操で地域の人とふれあう、ヨガ、座禅体験、散歩やウォーキング、ジョギングコース ・誰もが参加できるスポーツで交流、ボール遊び、バドミントン、バスケット3on3、テニスコート、ソフトボール
	◆体験・学習・創作 ・子どもの青空教室、自然学習、素材にふれることができる場所、グランピング ・農業について学べる場、みんなの農園、市民農園、コンポスト ・みんなで参加できるワークショップ(ウッドクラフト、ボトルキャップアート、ハーバリウム、クリスマスリース) ・体験の話を聞く場(留学など)、学校や企業と連携した体験・学習、職人さんに教えてもらう場 ・移動図書館、おもちゃ図書館
魅力向上に望まれること	◆イベントや交流を楽しむ ・マルシェ、フェスタ、地域産業や地元食材を楽しむ場(屋台市、朝市、蚤の市等)、フリーマーケット ・市民団体や多世代が集まるイベント、子どもの遊び、ハイハイレース、高齢者が様々な人とふれあえる場所 ・誰もが参加できる音楽・手品等の発表イベント、小学生の発表の場、学校イベント(体育祭・文化活動等)の場としての利用、子ども食堂 ・JAZZイベント(飲食)、屋外コンサート、世界の遊び、ペットと遊べる場所、動物とのふれあい、保護猫・犬、市民交流が図れるスポーツ大会や夏祭り、マラソン大会の拠点、大きな祭りを年1-2回開催
	◆映える空間づくり ・ふと立ち止まるシンボリックな場所、中心に芝生広場、周囲に樹木や並木道、目印になる施設や建物の景観 ・木々を五感で楽しむ(桜や紅葉、花見、実のなる木、香る木、森のこもれびなど)、花畑、バラ園 ・築山や盛土(八幡山をイメージした丘、設備を築山等の下に隠す、外からの視線をさえぎる、自然を感じる風景(ラコリーナ風))、丘の上のステージ、水辺のステージ、噴水、映える休憩スポットづくり ・屋外家具や環境装置に地域の素材を使い、しつらえやこころしさにこだわる、お洒落なベンチ(学生創作など) ・季節イベント毎の装飾(七夕、ハロウィン、クリスマスなど)
	◆夜間利用 ・照明、夜間も明るく安心して利用できる ・夜のライトアップ、イルミネーション(竹筒の中のLED等)、水をライトアップする
	◆休憩しやすい工夫 ・ベンチが多い、地形の傾斜・段差や芝生を活かした座りやすい場所、座ったりもたれかかったりできる場所 ・日陰のある休憩場所(木陰、屋根付き、取り外し可能なテント)、木立を多くして日陰をつくる
	◆子育て支援の場づくり ・子育て世代の安心を支援する多世代交流の場(カフェなど) ・靴を脱いで遊べる、1-2歳が安心してたっちできる場所
その他望まれる機能	◆飲食 ・カフェ、軽食、パン屋、パンづくり、お弁当・おにぎり・野菜・フルーツ・お菓子等が買える店 ・キッチンカー、マルシェ、いいもん市、ラッピングカー、テラス席、バー(夜)、猫カフェ・犬カフェ ・地元食材のお弁当、周辺店舗の出張売り場、企業連携し就労体験可能なカフェ ・広場とカフェの一体的な空間づくり、縁側カフェ、子どもと一緒に過ごせる場所
	◆勉強等の活動できるところ ・学習スペース(自習)、学習スペース(グループ学習・活動)、交流スペース(学生や子どもの居場所) ・図書コーナー、ビジネスマンも利用できる作業スペース、飲食可能な場所づくり ・音を気にせず、楽器・太鼓等が自由にひけ練習できる場所、カラオケボックス
	◆利便性の向上 ・駐車場、子ども用トイレ、ネットにつながる(Wi-Fiなど)、間の道路は狭くて(なくても)よい ・テントや遊具などの貸し出し、誰でも使える設備(OA機器など)、野外電源設備(イベント等対応) ・多目的に使えるレンタルスペース、リペアサービス、スプリングラー、QRコード(情報発信)
	◆災害時の利用 ・かまどベンチ(炊き出し)、担架になるベンチ、災害時用トイレ、備蓄倉庫(盛土下を利用)、トレーラーハウス ・浸水対策(三明川、貯留・貯水対応) ・防災訓練の場、防災イベント、地震体験のバス、期限切れ備蓄品を活かした交流イベント、防災グッズの販売
その他	◆周辺環境との調和 ・周辺住宅地との共存(日影、景観、緑化、騒音など)、周辺地域住民等の日常的な利用のしやすさ
	◆協力体制 ・みんなでつくり育てる広場、シルバー人材の方が管理に携われる、学生主体の観光ガイド
	◆その他アイデア ・サイクリング利用客が立ち寄りたくなる場所、太陽光利用(エコ)、ペット対応、子どもの自転車練習など